

令和6年度 評価指標からみえたもの（市まとめ）

- ・地域包括ケアシステムの構築・推進が高い評価であった。委託元である市と定期的な会議をもち、役割分担、課題を明確にしている。
- ・地域ケア会議については、生活圏域すべてに包括が参加し、会議の組立に参加している。
- ・低い評価であった介護予防ケアマネジメント・介護予防支援は、社協包括ですべて事業展開していることもあり、市としての事業の評価・活用がなされていない。

評価1（実施できなかったもの）

- ・どの項目においても、年度末のアウトプット指標については、評価表にて行っているが、中間アウトカム指標が出来ていない。
- ・センター職員の資質向上のための研修
- ・センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか。
- ・利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターと共有しているか。
- ・利用者の状態の維持・改善に向けた介護予防サービス計画でない場合、その適正化のために、地域ケア会議を活用しているか。

評価3（成果基準を含め実施できたもの）

- ・センターが実施方針に則した事業運営ができるように、運営予算を毎年見直し、確保しているか。
- ・その他、対象に応じた様々な方法でセンターを周知しているか。
- ・総合相談支援事業に関するセンターの後方支援体制を構築しているか。
- ・センターにおける相談事例の分類方法を定め、相談件数や相談内容の特徴を把握しているか。
- ・各レベルに（一つのレベルであっても多様な機能を果たす）地域ケア会議を設置し、それぞれが連動する体系をつくっているか。
- ・地域課題や自立促進要因を把握・整理・仕分けする場を設けているか。
- ・地域ケア会議と他の会議や事業とが連動する体系をつくっているか。
- ・センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか。
- ・地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。
- ・複数の個別事例から地域課題を明らかにし、市町村主催の地域ケア推進会議で検討することで、政策形成につなげているか。

令和6年度 評価指標からみえたもの（包括まとめ）

- ・「介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」が高い評価であった。事業実施における方針内容等は市と検討している。
実施の事業展開は社協包括で評価指標に基づくものを展開できている。
- ・次に評価の高い「権利擁護事業」については、相談窓口を包括にも設置している。市長申立てのケース等含め後見が必要なケースは、市と包括でアセスメントし役割分担している。
- ・地域ケア会議については、生活圏域すべてに包括が参加し、会議の組立に参加している。
- ・低い評価であった「地域ケア会議」は、評価表には、包括が主体となる地域ケア会議の開催を位置づけられているが、浜田市地域包括支援センター運営方針に位置づけられている。
地域ケア会議は、市が実施する地域ケア会議に積極的に参加し連携を密にするとなっているため市主導型の地域ケア会議である。
- ・同じく低い評価の「地域包括ケアシステムの構築・推進」については、現状および将来像、ニーズを把握するためのデータ、計画等は委託元の市において作成しているため、それを基に、包括は把握をしている。
- ・社協包括委託後、3年経過しているため、計画等に反映できるものを検討する。

評価1（実施できなかったもの）

- ・5：包括的・継続的ケアマネジメントにおける53番。市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービスを抽出し、検証をしているか。の項目については、介護予防サービス計画の事例検証をする位置づけがない。包括でのプランチェックを行っている。地域ケア会議の事例検証は、地域課題に応じた事例をもとに検証を行っている。
今後、居宅へ反映できるプラン検証の在り方を検討する。

評価3（成果基準を含め実施できたもの）

- ・7：介護予防ケアマネジメント・介護予防支援については、すべての項目において3の評価ができています。マニュアルを作成し、セルフマネジメントについても記載をしている。
台帳管理をし、マニュアルについては、利用者のみならず、支援者（介護支援専門員）の効率化等考慮し、マニュアルの手入れを行っている。
- ・4：権利擁護事業における対応として、相談窓口、ケース対応等は、市と絶えず連携し、情報共有しながら役割分担をしている。ケースを通して、窓口の明確化ができています。
各支所、サブセンターにおいては、支所ごとの連携強化と、本所とサブセンターとの連携は、サブセンターには3職種設置がなされていないため、職種連携等の役割分担等で対応ができています。